

(専門試験 水産 No. 1)

次の文章は、水質汚濁の評価に関する記述である。文章中の空欄 a～e に入るものの組合せとして正しいのはどれか。

有機物による水質汚濁の程度は COD や BOD によって評価され、COD では a の働きにより、BOD では b の働きにより、それぞれ有機物が分解される際に消費する酸素量を測定する。COD は c で、BOD は d での水質汚濁の指標として主に用いられる。COD と BOD のいずれも、数値が e ほど有機物が多いことを示す。

	a	b	c	d	e
1.	微生物	酸化剤	河川	湖沼や内湾	低い
2.	微生物	酸化剤	河川	湖沼や内湾	高い
3.	酸化剤	微生物	湖沼や内湾	河川	低い
4.	酸化剤	微生物	湖沼や内湾	河川	高い
5.	酸化剤	微生物	河川	湖沼や内湾	高い

正答番号 4

(専門試験 水産 No. 2)

我が国の漁業をめぐる近年の情勢に関する次の記述 a～d のうちには正しいものが二つある。それらはどれか。

- a. 我が国周辺水域は、1990年代以降、温暖レジームが続き、カタクチイワシやスルメイカの資源状況が良好であったが、近年はこれらの魚種の資源量が減少しており、寒冷レジームに移行しつつある可能性が示唆されている。
- b. 気候変動による海水温の上昇が主要因と考えられる近年の現象として、ブリやサワラ等の分布域の北上があり、ブリについては、北海道における漁獲量が増加している。
- c. 現在、1～2か月先までの海況を予測するシステムが開発されているが、その情報は実際の漁業の漁況予測にはまだ活用されていない。
- d. 農林水産省の「食料・農業及び水産業に関する意識・意向調査」（平成30年3月公表）によると、漁業者からの回答のうち、漁業経営に「既にICTを活用している」と「ICTを活用する計画がある又は活用を考えている」の割合が合わせて8割以上となっている。

- 1. a, b
- 2. a, c
- 3. b, c
- 4. b, d
- 5. c, d

正答番号 1